



あんないっしょに、いっしょに

写真  
5

### 31 自転車で安全運転

自転車の交通事故防止を図り、交通ルールを遵守した自転車の安全な乗り方を学んでもらおうと「平成26年度交通安全こども・高齢者自転車南宇和地区大会」が城辺小学校体育館で開催され、こどもの部に13名、高齢者の部に3名の選手が参加しました。

大会では学科（交通法規）と実技（技能、安全走行）の試験が行われ、選手は真剣な表情で取り組み、自転車の交通ルールを再確認していました。

LOWN PIAA

写真  
6

### 31 美しい御荘湾を守ろう

御荘湾の干潟に生息するドロアワモチやシオマネキなどの希少生物の保護・汚染環境の浄化・環境保全を目的に、南宇和ライオンズクラブ（西崎良文会長）が『ライオンズ奉仕デー』片の浜清掃活動を実施しました。

今年の清掃には、平城小学校から児童19名が初めて参加したほか、町内金融機関や愛南ボランティア連絡会など18団体、約170名が参加して発泡スチロールや木くず、プラスチック類など海岸漂着ごみを回収しました。

### 本日!海日和!! vol.44 「星 + 笹の葉 = ?」



ホシササノハベラ

もうすぐ七夕がやってくる。夏祭りの笹飾りには、子どもたちのかわいい願い事が書かれていて思わずほほえんでしまう。

ホシササノハベラは、「星」・「笹の葉」と七夕を連想させる名前が付いていて、なんだか願い事をかなえてくれそうである。ベラの仲間は夏が旬とされ、瀬戸内では煮てよし焼いてよしと珍重される高級魚である。私も初めて行った船釣りで、漁師さんの作ってくれた刺身の味に、子どもながらに感動したことを覚えている。もちろん魚屋でもセンター候補である。

ベラの仲間は愛南でもよく釣れるのだが、持ち帰る人はほとんどいない。魚が好きなネコでさえ、またいで通るのだと「ネコマタギ」なんて呼ぶ人さえいる。カツオやタイなど肉のたっぷりついた、食べ応えのある魚が豊富な地域なので無理のないことかもしれない。食文化の違いとはいえ、贅沢な話である。

そういえばホシササノハベラは真っ赤なサンゴをなわばりにしていた。ここでは魚の住みかも贅沢である。

(撮影地: 鹿島)

愛南サンゴを守る会 西尾知照



保育所等では、寄贈された図書カードでたくさんの絵本を購入しました。

写真1  
5/15,16 劇団風の子がやってきた

5月15日に一本松小学校で、16日には福浦小学校で、「ほっと計画委員会(河野 満代表)」などが主催する「劇団風の子」の公演が行われました。

16日の公演には福浦小、船越小、中浦小の児童、船越保育園の園児や地域の方々が集まり、主人公ウーフとその仲間が繰り広げる「落としたり失くしたりしない、自分の中にある大切なもの」探しの物語を楽しみました。

写真2  
5/18 サイクリングで絆づくり

自転車で巡りながら愛南町の豊かな自然と食、お接待の文化を体感してもらおうと、愛南サイクリング愛好会(粉川洋幸会長)が「第2回ツール・ド・あいなん」を開催しました。

県内外125名のサイクリストが参加した大会は、山出憩いの里温泉を発着地に高茂岬を回る75kmコース、高茂岬から篠山を経由する110kmコースで行われ、選手は4か所のチェックポイントで、ボランティアスタッフから振る舞われるカツオのタタキや愛南ゴールドの生搾りジュースなどの「お接待」で疲れを癒しながら高低差の激しい難コースを疾走しました。

写真3 写真4  
5/30 ゴルフを通じて地域に貢献

『ゴルフを通じて地域に貢献したい』との思いで毎年開催されている「一本松チャリティーゴルフ大会」(5/18、四万十市)で集まった寄付金の贈呈式が、一本松地区の福岡内科外科医院前で行われました。

18回目の開催となった今年の大会には56名が参加。贈呈式では、福岡義人大会実行委員長から、障害児の親の会「ありんこくらぶ(宮崎和友会長)」に20万円、また町教育委員会に10万円分、町内保育所・幼稚園には20万円分の図書カードの目録がそれぞれ手渡されました。